

診断フレームワーク Portico の手動インストールとログ ファイル

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[解決策](#)

概要

この資料は Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 診断フレームワーク柱廊玄関の壊れるインストールを回復 するために使用されるプロシージャを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco UCCE
- 診断フレームワーク柱廊玄関
- Microsoft Windows サービス、レジストリおよび CLI

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は基づいた on Cisco UCCE バージョン 8.5 および 9.0 です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

新しいインストールかリフレッシュ アップグレードが、診断フレームワーク柱廊玄関ページ ロードしないかもしれません。さらに、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 診断フレームワーク サービスは `services.msc` に現れないかもしれません。

トラブルシューティング

柱廊玄関診断ページに達するために柱廊玄関が動作するローカルサーバからこれらの URL にアクセスして下さい。環境のために <UCCE-server-IP> および <Instance-Name> ホルダーをそれに応じてアップデートするようにして下さい。

- `https://localhost:7890/icm-dp/rest/DiagnosticPortal/GetMenu`
- `https:// <UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/DiagnosticPortal/GetMenu`
- `https:// <UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/AnalysisManager/GetMenu?InstanceName=<Instance-Name>`

上の URL がはたらかない場合、その他の情報に関してはこれらのログファイルを参照して下さい：
:

- `C:\icm\serviceability\diagnostics\logs`
- `C:\Temp\icminstall.log`

これらのどちらかが参照インストーラ エラーを記録する場合、InstallUtil ログを見ることができます。これを、ナビゲート C にするため:> ウィンドウ > Microsoft.NET > フレームワーク > v2.0.50727 > InstallUtil、および開いた InstallUtil.INSTALLLOGFILE。

解決策

診断フレームワークを手動でインストールするためにこれらのステップを完了して下さい：

1. コマンド プロンプトを開きます。
2. 次のコマンドを入力します。 `C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\InstallUtil.exe`
`C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe` 診断フレームワークはこのイメージに示すように今、インストールされています：

```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\InstallUtil.exe C:\nicm\serviceability\di
Microsoft (R) .NET Framework Installation utility Version 2.0.50727.5420
Copyright (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Running a transacted installation.

Beginning the Install phase of the installation.
See the contents of the log file for the C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe assembly's progr
The file is located at C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog.
Installing assembly 'C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe'.
Affected parameters are:
  logtoconsole =
  assemblypath = C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
  logfile = C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog
Installing service DiagFwSvc...
Service DiagFwSvc has been successfully installed.
Creating EventLog source DiagFwSvc in log Application...

The Install phase completed successfully, and the Commit phase is beginning.
See the contents of the log file for the C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe assembly's progr
The file is located at C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog.
Committing assembly 'C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe'.
Affected parameters are:
  logtoconsole =
  assemblypath = C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
  logfile = C:\nicm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog

The Commit phase completed successfully.

The transacted install has completed.

C:\Users\Administrator>_
```

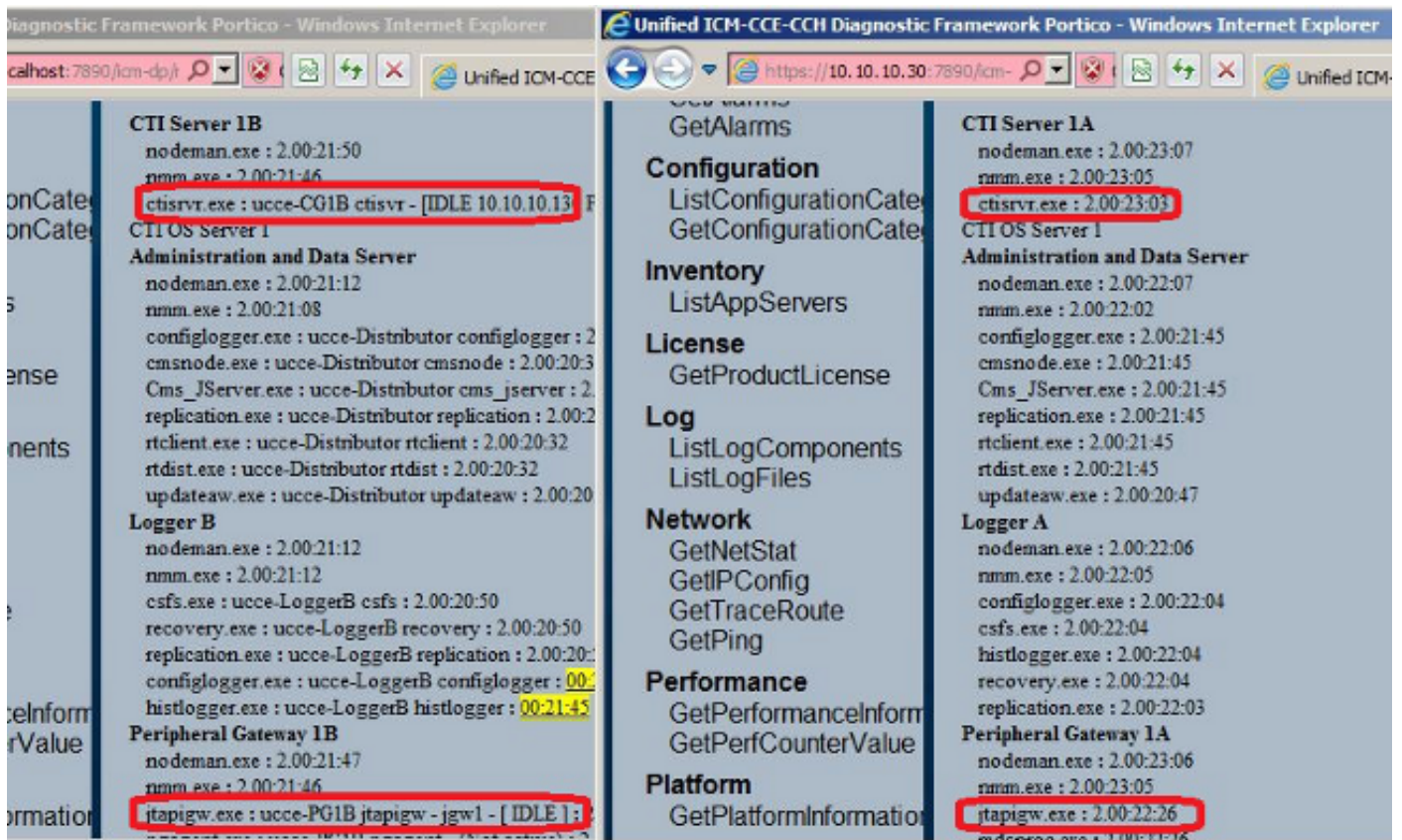
既にマシンで存在するサービスがこのメッセージを得れば:

An exception occurred during the Install phase.

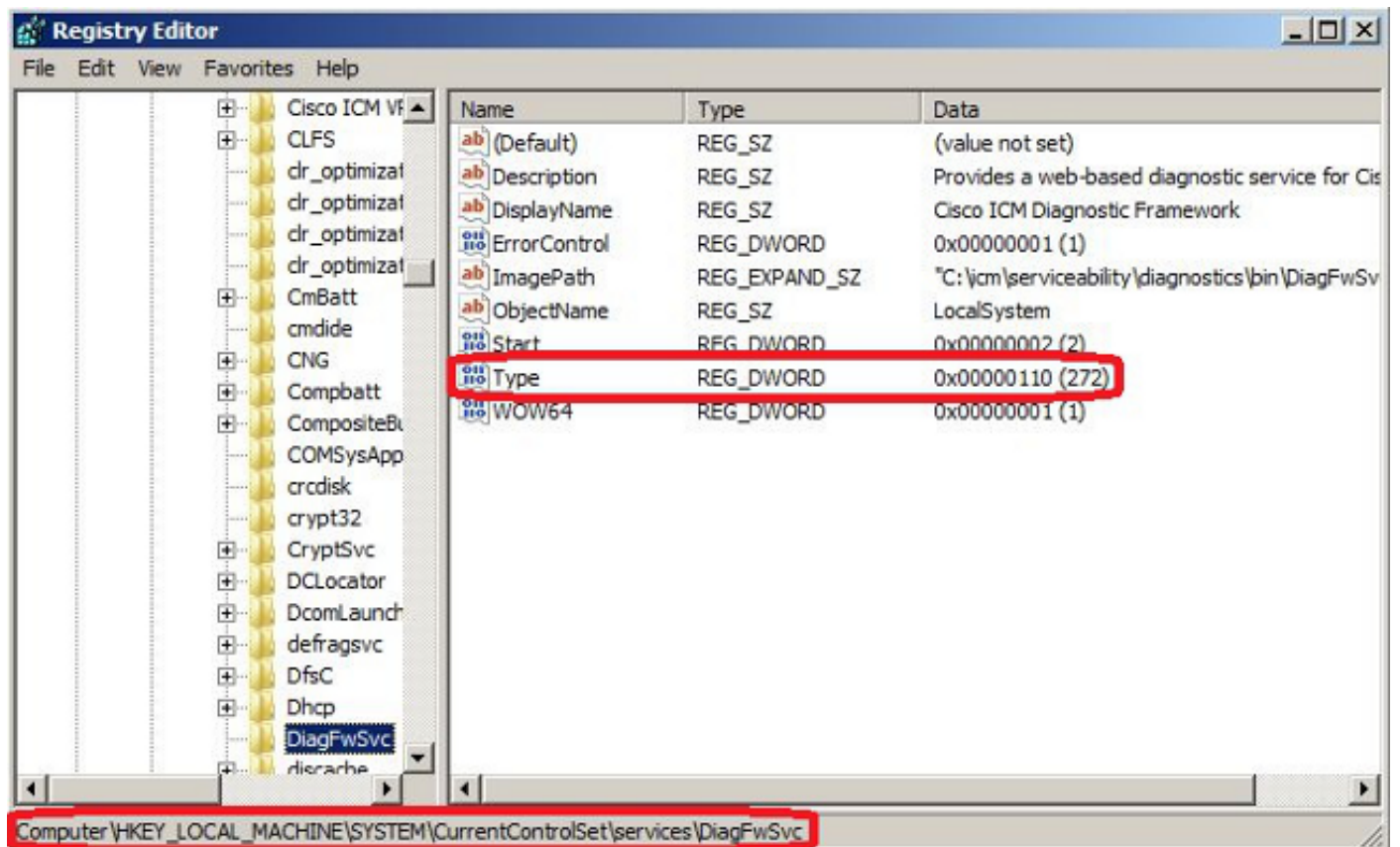
System.ComponentModel.Win32Exception: The specified service already exists

インストールは transactioned 方法で実行された; アセンブリの 1 つがインストールし損う場合他のすべてのアセンブリのインストールは延期されます。 uninstall not transactioned.

注: 診断フレームワーク柱廊玄関の手動インストールの後で、プロセスは (次のスクリーンショットの右下で) かもしれませんがステータスを表示しないために。場合、情報はスクリーンショットの左下に正しくインストールされた表示する必要があります。



手動インストールが完了した後 ICM 診断柱廊玄関 ListProcesses および統一された CLI show processes コマンドが ICM プロセスのステータスを表示しなければ、に HKEY_LOCAL_MACHINE > システム > CurrentControlSet > Services > DiagFwSvc はナビゲートし、タイプが 0x0000110 に設定されることを確認します (272)。



レジストリの変更が必要となる場合、変更を保存するためにサーバをリブートして下さい。再度ブートするの後で、UCCE プロセスのステータスはきちんと表示する必要があります。